

第6学年保護者の皆様

廿日市市立地御前小学校長 戸崎 志乃婦

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

秋麗の候、平素より本校教育に対し、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、4月に全国の6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。今回の結果から把握した各児童の学習や生活における実態をもとに、今後の指導内容や指導方法の改善・充実を図ってまいります。尚、これらの内容については、学校ホームページにも掲載します。

I 教科に関する調査

国語

全国学力・学習状況調査 本年度正答率 【国語】	
本 校	75.0%
広 島 県	69.0%
全 国	67.7%



重点課題

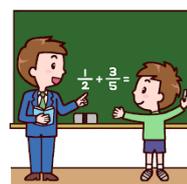
- オンラインで交流する場面における話し方の工夫として適切なものを選択することができる。
(問題1ニ(2) 正答率:本校51.5%, 全国52.9%)
- 文章の空欄に入る内容を、メモを基にし、条件を満たして書くことができる。
(問題2ニ 正答率:本校65.2%, 全国56.6%)
- 話し合いの様子で、物語の何に着目したかについて説明したものと、適切なものを選択することができる。
(問題3ニ(2) 正答率:本校66.7%, 全国72.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- ◎ 話し合いの単元において、話し方のよさを見付けたり、オンライン交流を実際に体験したりする活動を取り入れる。
- ◎ 事実と感想や意見の違いを指導し、事実(根拠)をもとに自分の考えを書く経験を授業の中で増やす。
- ◎ 読み聞かせや読書から、文章に書かれていることをイメージする機会を増やす。また、イメージしたことを話し合ったり、説明したりする場を設ける。

算数

全国学力・学習状況調査 本年度正答率 【算数】	
本 校	70.0%
広 島 県	64.0%
全 国	63.4%



重点課題

- 球の直径と立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる。
(問題3(3) 正答率:本校48.5%, 全国36.5%)
- 2つの速さを比べる時、理由を言葉と数を用いて記述することができる。
(問題4(3) 正答率:本校39.4%, 全国31.0%)
- グラフから必要な数値を読み取り、条件にあてはまることを数値と言葉で記述する。
(問題5(3) 正答率:本校53.0%, 全国44.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- ◎ 生活の中でも使える算数の問題や活動に取り組む。
- ◎ 問題場面を読み取ったり、資料の中から必要な情報を取り出したりして、条件に沿って記述する問題に取り組む。
- ◎ 操作、体験活動などの数学的活動を取り入れ、数量や図形及びそれらの関係についての概念を理解できるようにする。

2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（主なもの）

- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか。「肯定的回答」
(本校：92.5% 全国：90.7%)
- 自分には、よいところがあると思うか。「肯定的回答」
(本校：90.9% 全国：84.1%)
- 朝食を毎日食べているか。「肯定的回答」
(本校：95.5% 全国：93.7%)

- △ ふだん（月曜日から金曜日）の1日当たりのテレビゲーム（スマートフォンを使ったゲームなども含む）の時間「4時間以上」
(本校：39.4% 全国：30.3%)
- △ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っているか。
(本校：65.2% 全国：71.1%)
- △ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか。
(本校：80.3% 全国：80.8%)
- △ 困りごとや不安があるときに、大人に相談できるか。
(本校：56.0% 全国：67.1%)



【今後の取組】

- ◎ 約束を守ってゲームをするよう、学校と家庭で協力して指導していく。
- ◎ 教員や養護教諭、スクールカウンセラーなど学校にいる大人に相談できることを周知する。
- ◎ 自分の学びにつながっている実感をもてるよう声をかけたり、学習の振り返りの際に振り返る視点をもたせたりする。

学校では、これらの結果を受け、よりよい学校教育に向け、全教職員で共通理解を図りながら取組を進めてまいります。改善に向け、学校だけでなく、家庭・地域社会がそれぞれの適切な役割を果たしつつ、連携・協働した取組が行われることが重要です。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

